

新居浜市地域公共交通計画の策定に向けた 取り組みについて

株式会社 現代文化研究所

2023年3月28日

< 目次 >

1	今年度の調査概要	P 3
2	アンケート調査の概要	P 6
3	主なアンケート調査結果	P11

1. 今年度調査の概要

(1) 背景と目的

背景

新居浜市において、今後進展が進む、住民の高齢化、免許の返納に伴い、「マイカーを持たない生活者の増加」、「自宅化の移動自体が難しい生活者の増加」が想定される。

そのため、このような自らの手による移動が難しい住民において、継続的な移動サービスを受けることのできる環境の構築が求められる。

目的

公共交通に関するアンケート調査をはじめとする公共交通に関する現状分析を行いながら、新居浜市地域公共交通計画の策定に向けた取り組みを行うことを目的とする。

(2) 今年度調査の全体概要

1) 新居浜市の概況の整理	新居浜市全体の地勢、人口動態、高齢化率、居住環境等の実態について整理する。
2) 新居浜市の公共交通の現状の整理	公共交通の運行状況、利用状況や、交通結節点の状況、その他移動サービスの現状を整理する。
3) 新居浜市のまちづくり施策の整理	これまで新居浜市において作成された、公共交通関連性が深い分野におけるまちづくり施策について整理する。
4) 移動に関する実態及び需要調査	公共交通に関するニーズ・意向を探るため、 住民アンケート、路線バス利用者アンケート調査、デマンドタクシー利用者アンケート調査 、交通事業者ヒアリングを実施する。
5) 課題の抽出	ここまでの調査項目から得られた分析結果を参照しながら、新居浜市における公共交通に係る課題の抽出・整理を行う。
6) 課題解決に向けた取り組みの検討	ここまでの抽出した課題を解決するため、今後の地域公共交通の基本方針策定に向けた方針の検討を行う。

→ **アンケート調査について後述**

2. アンケート調査の概要

(1) アンケート調査の全体概要

右の3つのアンケート調査を実施し、公共交通に対する住民及び利用者双方の視点からニーズ・意見を把握

(1) 住民アンケート

住民を対象とした、郵送配布・回収（一部インターネットも活用）によるアンケート調査

(2) 路線バス利用者アンケート調査

路線バス利用者を対象とした、主要バス停での手渡し配布・郵送回収（一部インターネットも活用）によるアンケート調査

(3) デマンドタクシー利用者アンケート調査

デマンドタクシー利用者を対象とした、車内での手渡し配布・郵送回収（一部インターネットも活用）によるアンケート調査

(2 - 1) 住民アンケート

1) 調査手法	■郵送（配布・回収）による自記式アンケート
2) 調査対象者	■新居浜市に居住する18歳以上の住民のうちランダムに抽出した3,000名
3) 実査期間	■2022年12月31日～2023年1月31日
4) 回収サンプル数	■配布サンプル数計 3,000（川西地区1,000s、川東地区1,000s、上部地区1,000s） ■回収サンプル数計1,105サンプル（回収率37%）
5) 設問内容	ア.日頃の移動状況 イ.路線バスの利用状況 ウ.おでかけタクシーの利用状況 エ.交通全般に対する意見等 オ.属性情報（性別・年代・家族構成・職業等）

(2 - 2) 路線バス利用者アンケート調査

1) 調査手法	■新居浜駅、イオンモール新居浜、住友別子病院の3カ所のバス停における調査員による配布（郵送回収）による自記式アンケート
2) 調査対象者	■路線バス乗降者
3) 実査期間	■2023年2月17日～2月28日
4) 回収サンプル数	■配布サンプル数計 336（新居浜駅177s、イオンモール新居浜123s、住友別子病院36s） ■回収サンプル数計 80サンプル（回収率24%）
5) 設問内容	ア.日頃の移動状況 イ.路線バスの利用状況 ウ.おでかけタクシーの利用状況 エ.交通全般に対する意見等、オ.属性情報（性別・年代・家族構成・職業等）

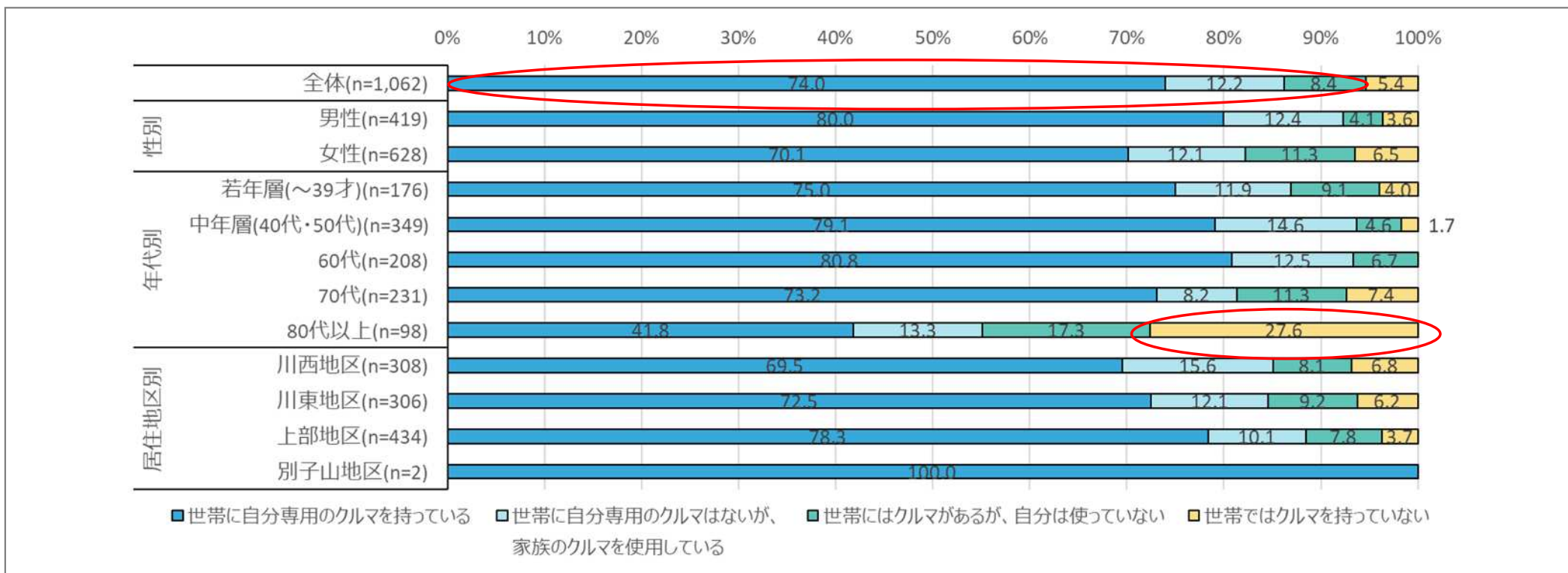
(2 - 3) デマンドタクシー利用者アンケート調査

1) 調査手法	■川東地区、上部地区における「おでかけタクシー」の乗務員による配布（郵送回収）を行う、自記式アンケート
2) 調査対象者	■川東地区、上部地区における「おでかけタクシー」利用者
3) 実査期間	■2023年2月20日～2月28日
4) 回収サンプル数	■配布サンプル数計 360 ■回収サンプル数計 62サンプル（回収率17%）
5) 設問内容	ア.日頃の移動状況 イ.路線バスの利用状況 ウ.おでかけタクシーの利用状況 エ.交通全般に対する意見等 オ.属性情報（性別・年代・家族構成・職業等）

3. 主なアンケート調査結果

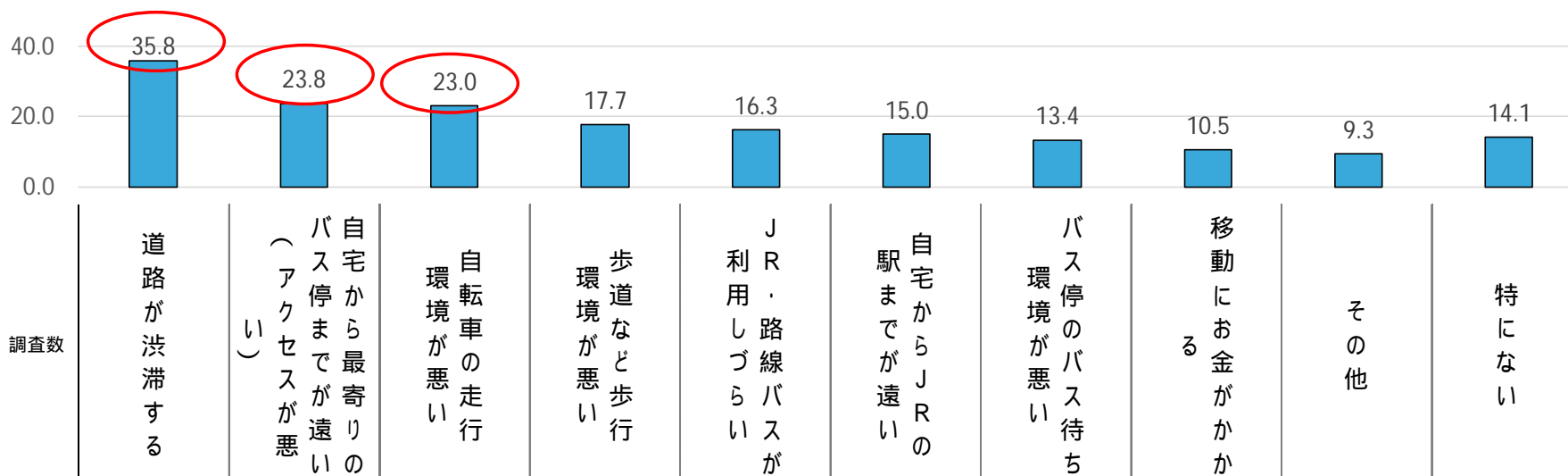
(1) 自家用車の保有状況

自家用車の世帯保有率も9割以上で、車社会といえる。
80代以上高齢層は自家用車非保有層の割合が高く、日頃の移動に課題があると思われる。



(2) 市内の移動での困りごと

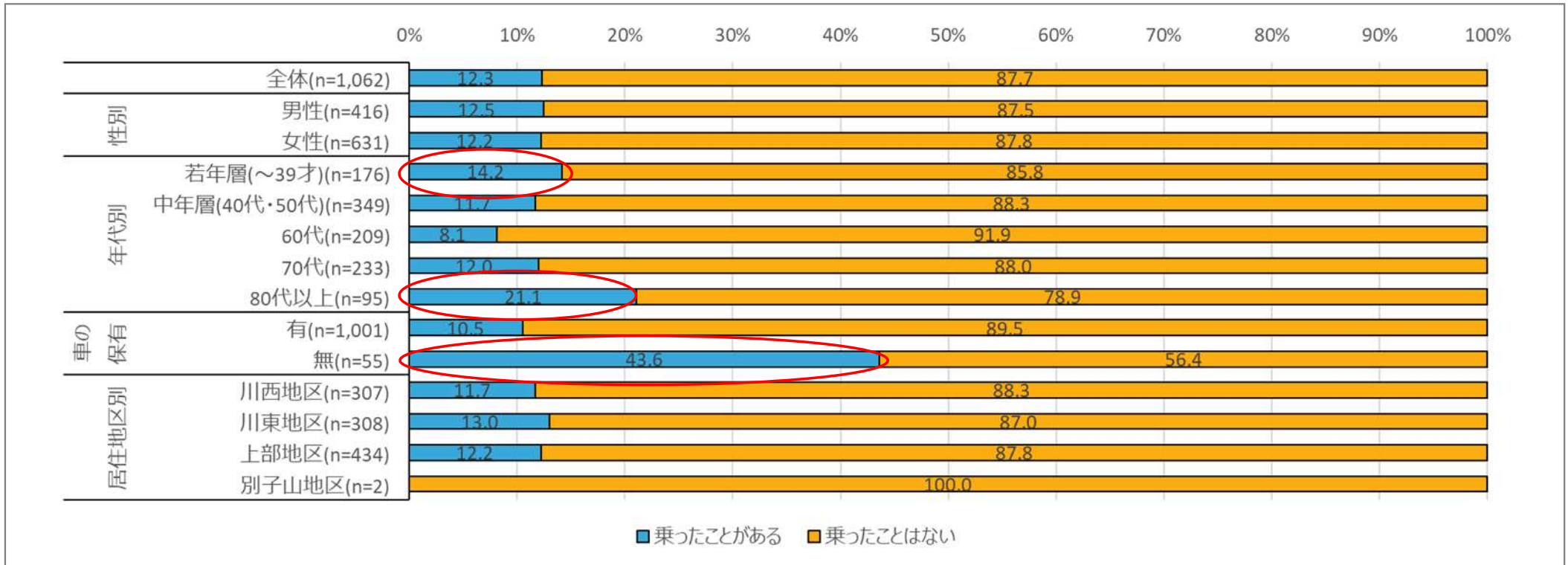
市内の交通での困りごととしては、「道路が渋滞する」、「最寄りバス停が遠い(アクセスが悪い)」、「自転車の走行環境が悪い」の順で高く、高齢層ほど「バス停への距離」の割合が高い。



調査数		道路が渋滞する	自宅から最寄りのバス停までが遠い(アクセスが悪い)	自転車の走行環境が悪い	歩道など歩行環境が悪い	JR・路線バスが利用しづらい	自宅からJRの駅までが遠い	バス停のバス待ち環境が悪い	移動にお金がかかる	その他	特にない	
全体	1015	35.8	23.8	23.0	17.7	16.3	15.0	13.4	10.5	9.3	14.1	
年代別	若年層(~39才)	174	50.6	13.2	16.1	14.9	17.8	13.8	8.0	7.5	13.8	15.5
	中年層(40代・50)	344	41.9	19.5	27.3	19.2	19.2	12.5	16.0	11.3	10.8	13.7
	60代	207	33.8	23.7	28.0	21.7	12.1	13.5	15.0	8.7	6.8	14.5
	70代	205	23.4	34.1	19.0	17.6	15.6	19.0	13.2	12.2	5.4	15.6
	80代以上	85	15.3	38.8	16.5	8.2	12.9	21.2	10.6	14.1	9.4	8.2

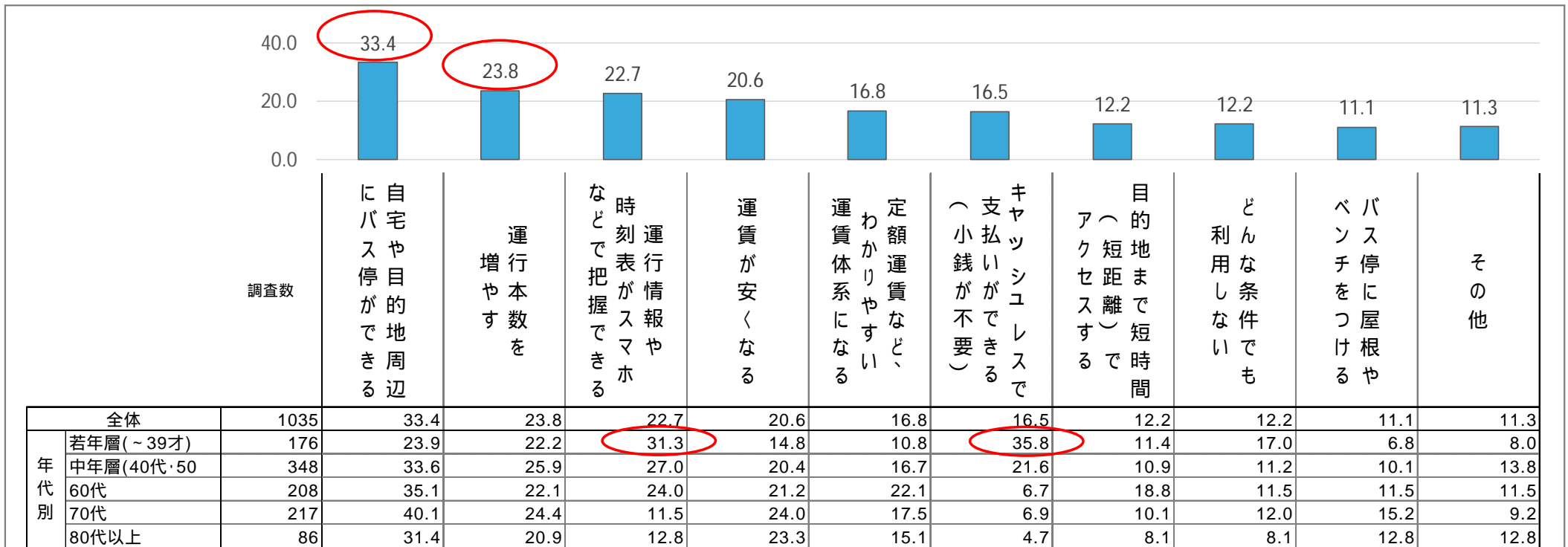
(3) 路線バスの利用状況

路線バスの利用率は、80代以上の高齢層や、39歳以下の若年層、自家用車非保有層で高い。



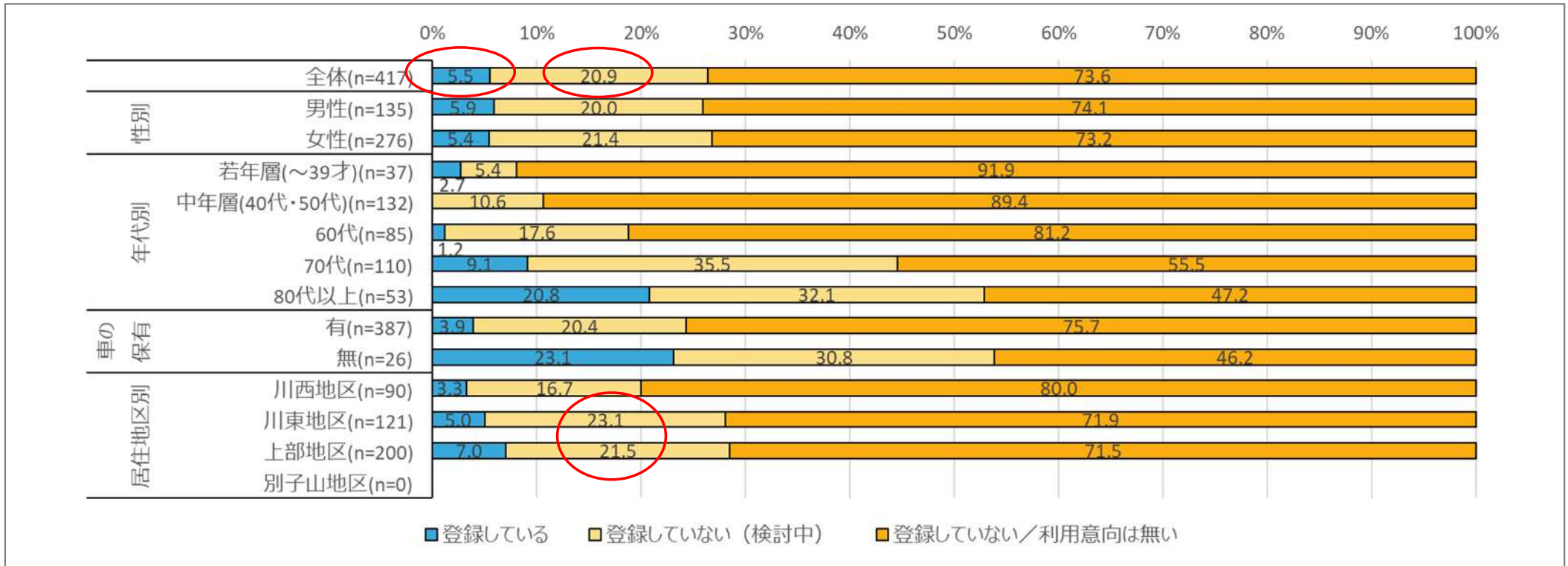
(4) 路線バスの利用を増やす条件

路線バスの利用を増やす条件としては、「近くにバス停ができる」や「運行本数の増加」が多いが、若年層ほど「乗り継ぎ便の情報がスマホで分かる」や「キャッシュレス化」などデジタル化・キャッシュレス化が鍵となると思われる。



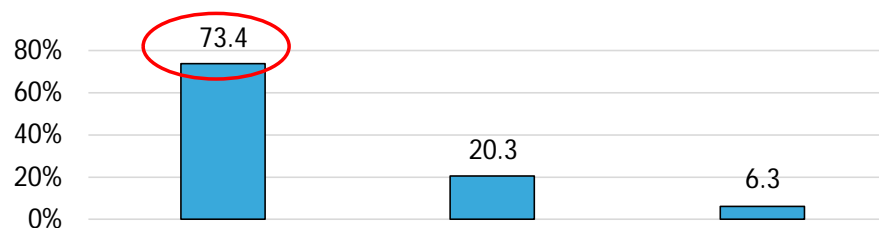
(5) デマンドタクシーの登録・検討状況

デマンドタクシーの登録率は5.5%で検討率は21%であり、高齢層ほど登録率が高い。川東地区と上部地区で比較的検討率が高い。





(6) デマンドタクシーの利用目的・行先

デマンドタクシーの利用目的・行先は、「通院」が最も多い。次いで「買い物」、「趣味・娯楽」が続く。



		調査数	通院	買い物	趣味・娯楽
全体		64	73.4	20.3	6.3
性別	男性	6	83.3	16.7	-
	女性	53	73.6	18.9	7.5
年齢別	～70代	14	71.4	14.3	14.3
	80代以上	41	78.0	19.5	2.4
居住地別	上部東	29	79.3	20.7	-
	上部西	21	61.9	19.0	19.0
	その他	6	83.3	16.7	-



GEN
BUN
KEN 現代文化研究所